

令和3年11月10日に長崎県平戸市獅子町で 発生した突風について

～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

11月10日07時過ぎ、長崎県平戸市獅子町で発生し被害をもたらした突風の種類は竜巻と認められます。その強さは風速約25m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

11月10日07時過ぎ、長崎県平戸市獅子町で住家の瓦のめくれなどの突風による被害がありました。

このため、長崎地方気象台は突風をもたらした現象を明らかにするために、11月10日に職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と認められる。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・突風発生時に移動する渦を撮影した動画が得られた。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約25m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

（根拠）

- ・屋根瓦のめくれ。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。